

謝(臨時増刊号) 19: 44-45, 1982.

13) 荻田善一: 家系資料による遺伝子分析 (a. 家系資料による遺伝形式の判定). 代謝(臨時増刊号) 19: 46-49, 1982.

14) 丸山由紀子, 荻田善一: 家系資料による遺伝子分析 (b. 遺伝子座間の連鎖の証明, c. 浸透率の計算法, d. 遺伝子頻度の推定法, e. 突然変異率の推定法). 代謝(臨時増刊号) 19: 50-61, 1982.

◆ 翻 訳

1) 荻田善一, 海老原妙子訳: アイソザイム—概念の歴史, 現在の状況, 将来への展望, 医学のあゆみ. 120: 999-1008, 1982.

◆ その他

1) 久保喜一, 荻田善一, 金 溶奎: 進化論的アプローチによるシャコウ類似生薬の開発. 和漢薬シンポジウム 15: 244-247, 1982.

2) 荻田善一: 分子病と遺伝, 「病態シリーズ(III)遺伝」, 41-49, カネボウメディック, 1982.

3) 桃井啓子, 荻田善一, 岩橋寛治: ウサギにおけるアトロピン「証」体質の薬理遺伝学的研究. 和漢薬シンポジウム 15: 240-243, 1982.

4) 荻田善一, 磯部正治, 長田尚夫, 橋中保男, 福西孝信: Deficiency of Adenine Phosphoribosyl transferase (APRT). 人類遺伝学雑誌 27: 147, 1982.

5) 片山和信, 荻田善一: Titration curves による SOD isozyme の分析—等電点及び垂直式スラブ電気泳動像の対応—. 生物物理化学 26: 280, 1982.

◆ 学会報告

1) Katayama K. and Ogita Z.: Superoxide dismutase isozyme in mouse erythrocytes. 第4回国際アイソザイム学会, 1982, 6, アメリカテキサス.

2) Ogita Z.: Esterase specificities. 第4回国際アイソザイム学会, 1982, 6, アメリカテキサス.

3) 片山和信, 荻田善一: Titration curves による SOD isozyme の分析—第電点及び垂直式スラブ電気泳動像の対応—. 第33回電気泳動学会総会, 1982, 10, 岡山.

4) 中島松一, 上川 浩: B α A 高, 低応答マウスにおけるメチル化 B α A による記憶T細胞応答. 第55回日本生化学会, 1982, 10, 大阪.

化 学 応 用

教 授 菊 池 徹
助 教 授 金 岡 又 雄
助 手 門 田 重 利
技 官 松 田 暁 子

◆ 原 著

1) Kikuchi T., Kadota S., Suehara H. and Namba T.: Occurrence of Nonconventional side chain sterols in an Orchidaceous plant, *Nervilia purpurea* SCHLECHTER and structure of Nervisterol. Chem. Pharm. Bull. 30: 370, 1982.

2) Kikuchi T., Kadota S., Nakamura K., Nishi A., Taga T., Kaji O., Osaki K. and Tubaki K.: Dethio-tetra (methylthio) chetomin, a new antimicrobial metabolite of *Chaetomium globosum* KINZE ex FR. Structure and partial synthesis from chetomin. Chem. Pharm. Bull. 30: 3846, 1982.

3) Kanaoka M., Yoshizaki M. and Fujio H.: Studies on the Constituents of *Trichosanthes* Species. I. On the Neutral Ether Extracts of the Dried Roots of *Trichosanthes japonica* REGEL, *Trichosanthes kirilowii* MAXIM. and *Trichosanthes cucumeroides* MAXIM., Chem. Pharm. Bull. 40: 2570-2574, 1982.

◆ 学会報告

1) 菊池 徹, 門田重利, 中村恵子, 西 荒介, 椿 啓介: *Chaetomium globosum* の代謝産物の研究, 抗菌活性を有する Dethio-tetra (methylthio) chetomin の構造. 日本薬学会102年会, 1982, 4, 大阪.

2) 渡辺和夫, 渡辺裕司, 菊池 徹, 劉 端梅: アイヌ民間薬フッキソウ成分 *Pachysandra alkaloids* の中枢興奮作用. 日本薬学会第102年会, 1982, 4, 大阪

3) 菊池 徹, 松田暁子, 久保陽子, 難波恒雄: *Harpagophytum procumbens* DC. のイリドイド配糖体成分について. 第56回日本薬学会北陸支部会, 1982, 6, 金沢.

4) 多賀 徹, 加地種野, 大崎健次, 門田重利, 菊池 徹: Dethio-tetra (methylthio) chetomin の結晶構造. 第32回日本薬学会近畿支部会, 1982, 11, 大阪.

5) 菊池 徹, 門田重利, 柳田一夫, 田中 謙,

渡辺和夫, 吉崎正雄: 辛夷の成分研究(4), 9, 12, 13, -tri-hydroxy- Δ^{10} -octadecenoic acid の単離と新ネオリグナン compound H の構造. 第58回日本薬学会北陸支部会, 1982, 11, 富山.

6) 金岡又雄, 矢野三郎, 加藤弘巳, 中野直子, 木下栄子: 和漢薬の生理活性成分の酵素免疫測定法の研究, Glycyrrhizin-蛋白質複合体の合成について. 日本薬学会第102年会, 1982, 4, 東京.

7) 加藤弘巳, 中野直子, 矢野三郎, 金岡又雄: 偽アルドステロン症におけるグリチルリチム代謝の検討, 第55回日本内分泌学会総会, 1982, 5, 東京.

8) 金岡又雄, 矢野三郎, 加藤弘巳, 中西京子, 吉崎正雄: 和漢薬の生理活性成分の酵素免疫測定法の研究, Paeoniflorin の酵素免疫測定法について. 日本生薬学会第29回年会, 1982, 9, 札幌.